

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	モアグレース平和IV	階数	地上10F
建設地	愛知県一宮市平和2丁目 14番2・14	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第1種住居地域、法2	平均居住人員	100人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年8月 予定	評価の実施日	2016年6月29日
敷地面積	1,089 m ²	作成者	(株)垣見設計事務所
建築面積	362 m ²	確認日	2016年6月30日
延床面積	2,506 m ²	確認者	(株)垣見設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE=1.0 ★★★★★

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 78%
 ③上記+②以外の 78%
 ④上記+ 78%

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.2
 Q2 サービス性能: 3.1
 Q3 室外環境(敷地内): 2.7
 LR1 エネルギー: 3.1
 LR2 資源・マテリアル: 2.9
 LR3 敷地外環境: 3.2

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.1

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.1

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2

3 重点項目									
①地球温暖化への配慮 <div style="text-align: center; font-size: 2em; color: green;">3.8</div>	③敷地内の緑化 <div style="text-align: center; font-size: 2em; color: green;">2.0</div> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</td> <td style="text-align: center;">8.0 %</td> </tr> <tr> <td>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</td> <td style="text-align: center;">0.0 %</td> </tr> </table>	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	8.0 %	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %				
外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	8.0 %								
建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %								
②資源の有効活用 <div style="text-align: center; font-size: 2em; color: green;">3.0</div>	④地域材の活用 <div style="text-align: center; font-size: 2em; color: green;">1.0</div> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2">＜外装材に使用した地域性のある材料＞</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">＜建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材＞</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td></td> </tr> </table>	＜外装材に使用した地域性のある材料＞		なし		＜建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材＞		なし	
＜外装材に使用した地域性のある材料＞									
なし									
＜建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材＞									
なし									

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
 LR-3.1 地球温暖化への配慮
 ②資源の有効活用
 Q-2.2 耐用性・信頼性、Q-2.3 対応性・更新性
 LR-2.2 非再生性資源の使用量削減
 ③敷地内の緑化
 Q-3.1 生物環境の保全と創出
 ④地域材の活用
 Q-3.2 まちなみ・景観の配慮 4)地域性のある素材による良好な景観形成

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積} - \text{附属物面積}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1.2 遮音								
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
3.2 グレア対策								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
4.2 換気								
4.3 運用管理								
Q2 サービス性能								
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
1.2 心理性・快適性								
1.3 維持管理								
2 耐用性・信頼性								
2.1 耐震・免震								
2.2 部品・部材の耐用年数								
2.4 信頼性								
3 対応性・更新性								
3.1 空間のゆとり								
3.2 荷重のゆとり								
3.3 設備の更新性								

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	
Q3 室外環境(敷地内)								
1 生物環境の保全と創出	独自③			2.0	0.30	-	-	2.7
2 まちなみ・景観への配慮	独自④			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮								
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④			3.0	0.50	-	-	3.0
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性								
LR1 エネルギー								
共用部BEI=0.62								
1 建物外皮の熱負荷抑制				3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化								
集合住宅以外の評価(3a.3b)				3.4	0.40	-	-	3.4
集合住宅の評価(3c)				1.0	-	-	-	
4 効率的運用				3.4	1.00	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	-	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	-	-	-	
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル								
1 水資源確保								
1.1 節水		節水型器具の使用		3.4	0.15	-	-	3.4
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				4.0	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.60	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	1.00	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減								
2.1 材料使用量の削減				2.7	0.63	-	-	2.7
2.2 既存建築躯体等の継続使用				2.0	0.07	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	② 独自	-		3.0	0.24	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	独自	-		3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				1.0	0.20	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独自	内装材と設備が容易にそれぞれ取り外し可能		3.0	0.05	-	-	
				4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避								
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.22	-	-	3.0
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.32	-	-	
1 消火剤				3.0	0.68	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				-	-	-	-	
3 冷媒				3.0	1.00	-	-	
LR3 敷地外環境								
1 地球温暖化への配慮	①	ライフサイクルCO2概算値:78%		3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮								
2.1 大気汚染防止				2.9	0.33	-	-	2.9
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.25	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.50	-	-	
1 雨水排水負荷低減	独自			2.7	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制	独自			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮								
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.33	-	-	3.0
1 騒音	独自			3.0	0.40	-	-	
2 振動	独自			-	1.00	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制								
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.20	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.70	-	-	
				3.0	0.30	-	-	

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2014年版+あいち版手引き

モアグレース平和IV

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.8
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.8	0.10	
② 資源の有効活用				3.0
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:7.99%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{重みの総和}}$ の総和

重点項目スコア= $\frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{重みの総和}}$

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 モアグレース平和Ⅳ

計画上の配慮事項	
総合	注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 住棟・広場・緑地を適切に配置して、近隣住戸や住環境に対して良好な配慮をした。
Q1 室内環境	注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 風通し・採光・外部からの音環境に配慮した。
Q2 サービス性能	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 住宅性能評価に出来る限り準拠した。
Q3 室外環境(敷地内)	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 敷地内の空地確保、及び緑化に配慮した。
LR1 エネルギー	注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 建物の断熱及び通風・採光を配慮した。
LR2 資源・マテリアル	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 節水型器具を採用した。
LR3 敷地外環境	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 透水性舗装を使用した。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。 特になし。